

私たちの活動や意見を仲間で共有します。  
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

# 土浦平和の会ニュース

2024年2月15日 第384号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiva.web.fc2.com/

**裏金・統一協会まみれのまま 来年度予算 軍事費8兆円を計上**

## 基地強化・戦争準備の政権は退場を

**平和の海埋め立て・世論を無視した万博強行やめて、被災地救援にまわせ！**

裏金に汚染され、統一協会との深いつながりにまみれた政権は、国民の怒りをかわそうとウソにウソを重ね、見苦しい姿をさらけ出しています。国会では、論戦から逃げ惑う岸田首相や閣僚たちの姿に、国民からの激しい怒りが沸騰しています。

しかし、重大なのは、国民の怒りをよそに「軍事費倍増」の方針はなりふり構わず貫徹しようとしていることです。来年度軍事予算は約8兆円（前年度から1.1兆円増額）を閣議決定し、“5年間で総額43兆円”の大軍拡方針を着々と強行する構えです。

能登半島地震からの復興に命がけで取り組む現地と支援の輪の広がりを横目に、戦争準備や辺野古の埋め立てや万博に湯水のように予算をつぎ込む政権の姿は、もはや醜悪と言わざるを得ません。

先の戦争で、加害と被害の両方の酷さ、さらに、唯一の被爆国としての苦しみも味わった日本だからこそできる世界平和への貢献こそ、日

本の役割です。これに背を向け続ける現政権には、一刻も早く“退場の審判”を突きつけなければなりません。

日本平和委員会の75年の歴史、茨城県平和委員会と土浦平和の会の30年の歴史の重みをかみしめ、活動を多彩に、さらに新しい世代へと広げていくことが求められています。



沖縄県名護市辺野古 大浦湾で台船上から石材を投入するパワショベル。石材が投入されるたびに海が白濁 (2/10付しんぶん赤旗電子版より)

### 2・11 百里初午まつり

#### 「憲法九条、ここにあり」

#### 「百里・憲法9条の碑」お披露目

2月11日、「百里初午まつり」が行われました。晴天の下、500人が集いました。土浦からは昨年を大幅に上回る24人が参加しました。31年に及ぶ闘いの結果、誘導路を「く」の字に曲げた平和公園に「百里・憲法9条の碑」が建立され、この日除幕式が行われました。



佐藤文雄がすみがうら市議のFB投稿の写真を拝借しました

#### 実行委員長 矢萩陽一 弁護士

(矢萩さんのフェイスブック配信より抜粋)

今日は毎年の百里初午祭の前に「百里・憲法9条の碑」の除幕式を行いました。県内外から80余団体、500名以上の賛同金が集まり、無事建立できました。思った以上に立派で見栄えのきれいな碑ができました。例年の初午祭以上にたくさんの方が集まってくださり、お披露目できました。憲法9条の碑は全国で34個目とのことですが、自衛隊基地のど真ん中に建てたのはこれが初めて。

私は実行委員長のあいさつを「この先、さまざまな困難や紆余曲折があっても、この日本が、いつかは、9条が理想とした、戦争も軍隊もない国となる日が来ることを信じたいと思います。・・・私たちに代わって、その日をしっかりと見届けてくれることを、この百里・憲法9条の碑に託して、除幕にあたってのご挨拶とします。」と結びました。

#### 【百里初午(はつうま)まつり】

基地のど真ん中であって誘導路を「く」の字に曲げている「百里平和公園」は世界の名物です。ここで50年以上変わらずに続くのが「百里初午まつり」。九条を守り、基地撤去を目指す人々が毎年2月11日に集います。

# 梅沢 優さん(百里反対同盟)が 記念講演

## “百里基地「違憲」訴え半世紀”を語る

### 土浦革新懇 が総会と記念講演会

1月28日午後、土浦革新懇は2023年総会を開催しました。総会に先立ち、梅沢 優さん(百里反対同盟)が“基地の心臓部に突き刺さる「くの字」”をテーマに講演。梅沢さんは半世紀に及ぶ基地撤去への思いを熱く語りました。

梅沢さんは、親の時代からの家族史、戦中・戦後史をたどりつつ、百里基地の誘致以後の足跡を詳しく語りました。基地反対農家が金の力や暴力的な脅し、警察権力の介入などで切り崩されていく中、親の思いを引き継いで、基地反対を貫いてきた自分史を語りました。裁判闘争が始まったのは梅沢さんが高校生の頃。そうそうたる弁護団の素晴らしい人間性に触れたことにふれ「裁判では負けても、人間としては負けていない」と当時を述懐しました。さらに、百里をたたきながら沖縄の基地問題にも心を寄せ、何度も足を運んでいることや運動の中で関わった人々のことなどを紹介。最近の基地の訓練の実態なども語りました。最後に「くの字」を残した先人達への敬意も語り、政治を変えることこそが確かな道と訴えました。

講演後、参加者からの意見・質問にも丁寧にこたえ、あっという間の一時間半を締めくくりました。



梅沢さんの話に聞き入る参加者。右写真、梅沢 優さん。

### ご案内

憲法共同センター次回行動は 2/18

2月街頭アピール行動

憲法9条生かした平和外交を!

2月18日(日)午前10時~

ケーズデンキ真鍋店前

思い思いのメッセージ・メッセージカードを持って参加ください

### 自衛隊施設見学にご参加を

県平和委員会主催

阿見町の武器学校を見学します

3月9日(土)

10時~11時30分

※参加希望者は事前登録が必要です。

連絡先: 土浦平和の会 近藤事務局長 (2/19まで)



ASEAN 3 国 (インドネシア、ラオス、ベトナム) を訪問した志位和夫氏(日本共産党現議長)が、ASEAN 諸国の外交方針として「対話の習慣」があると紹介しています。1年間に1500回の対話をしているというのです。365日の中でどうしてそれができるのか不思議です。

外交、貿易、経済、防衛など多方面の問題について、担当部門が対話を重ねているということでしょうか。さらに、この方法を東南アジアからインド洋・太平洋地域にも広げる努力をしているといいます。この教訓は大変重要なことだと思います。

大国も小国も対等な発言権を持って対話を重ねるといった習慣は世界が目指す貴重な教訓ではないでしょうか。

### 未来社会への教訓

「対話の習慣」を未来社会の指針に

井上 仁志 (土浦平和の会理事)

国際的外交の窓口は国連ですが、総会においてはどの国も平等な発言権が保障されているが、常任理事国には拒否権という残念な仕組みがあります。

世界の民主的な国には議会という制度があるけれども、政党とか派閥とかのグループが大きな発言権を持っていて、国民の権利が保障されていないという状況があります。特に大きな財力を持つ企業や富裕層を代表する発言権が大きいことは国民多数の権利と対立するところですよ。

このような対立のない社会の理想が「対話の習慣」から生まれるのではないのでしょうか。「対話の習慣」を世界の未来社会の指針としたいですね。(2024年2月)



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費: 月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行): 月額593円(送料含)

